

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2021 助成の概要と推薦理由

助成番号 21-1-5

プロジェクト名 コロナ禍での長期入院中の子どもが笑顔になる、
オンライン併用あそびプログラムの開発と試行
団体名 特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター
代表者名 宇野 京子
所在地 千葉県
助成額 182万円
助成期間 2021年6月1日～2022年5月31日
設立年 1988年
URL <https://chiba.gekijou.org/>



入院していても勉強やあそびができるよう、その機会を提供することは、子どもの権利条約からも守られるべきことである。しかしコロナ禍において、特にあそびや芸術に触れる機会はほとんど失われており、子どもたちの文化的で豊かな経験は欠如している状況である。

この団体は、千葉県内の子どもの発達権利を保障する生活文化環境をつくることを目指し、舞台芸術及び文化体験活動の普及推進活動、子育て支援事業、チャイルドライン千葉の運営などに取り組んでいる。また病院や施設の子どもが笑顔になる贈り物事業として、プロのパフォーマーが訪問し、楽しくワクワクするような時間を創出している。

今回の助成では、病院に入院している子どもの対象年齢に合わせた工作キットを開発し、作り方とあそび方をYouTubeで撮影。そしてYouTubeにアクセスするQRコードを工作キットに貼ることで、誰もが負担なく気軽に取り組んでもらえるよう工夫する。また作り方や遊び方をおさめたDVDも作成し、オンライン対応が難しい病院や当事者のニーズにも対応していく。さらにプロのアーティストによる短時間の生の舞台（パフォーマンス）やワークショップを限定公開でYouTube配信し、体力のない子どもでも楽しんでもらえる機会を提供する。

本助成を通じて、オンラインを用いた遊びのプログラムが長期療養中の子どもたちにも、環境や病状に関わらず楽しむことができるよう、これまでの経験を活かしながらプログラム開発に取り組んで欲しい。そしてコロナ収束後はオンラインとオフラインを融合させながら事業を展開していくことを期待する。